

# 変動気象にも負けない根張りの良い元気な苗を作しましょう！ 健苗育成による良質茎の早期確保で安定収量を確保しよう！

## 1. 播種

### (1) 播種日

- ・コシヒカリは登熟初期の過高温による品質低下を避けるため、8月5日以降の出穂を目指しましょう。
- ・コシヒカリの出穂期が8月5日以降となるよう、田植日は5月10日以降とします。
- ・5月10日以降の田植えにあわせて、播種日は4月20日以降にしてください。

### (2) 播種量 ～ゆっくり丁寧に播種しましょう～

1箱当り乾籾140g以下(催芽籾175g以下)の薄撒き均播に努めましょう。  
※五百万石、ゆきみらい等の大粒品種は1割増しで播種してください。

### (3) 播種前のかん水 (かん水時の弊害)

かん水不足	床土乾燥・発芽不揃い・籾の浮き上がり
水切り不足	積み重ねた下段の箱が過湿・酸欠をおこす

## 2. 育苗ハウスの管理

温度計を2カ所に設置し(ハウス中央部と苗箱の位置)、温度管理を徹底してください。

**ハウス内が30℃を超えたら必ず換気して下さい！晴天時は急激に温度上昇するので注意！**

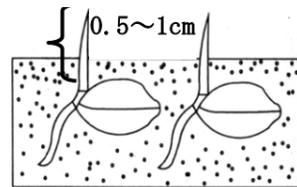
### (1) 播種後～緑化終了期まで：ハウス内温度は(日中)25～30℃、(夜間)15～25℃



【出芽終了のめやす】

被覆資材の中の温度が上がり過ぎないように必ず確認しましょう。

加温出芽の場合の出芽長のめやす



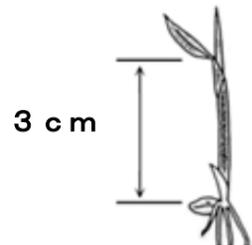
適度(0.5~1cm)



伸ばし過ぎ

### (2) 緑化終了の判断と苗ヤケ防止：ハウス内温度は(日中)20～25℃、(夜間)15～18℃

(緑化終了の目安)



茎の長さが、3cmになったら、育苗シートをとりまします。  
※こしいぶき、ゆきみらい、あきだわらの緑化は1日程度長めで苗丈を確保します。

**“高温・高日射により苗ヤケの心配で迷った時は、被覆資材をはぎましょう！”**

※特に、被覆資材が1重の場合は、苗ヤケに注意！

### (3) 硬化期の温度管理と水管理

期間(目安)	12～13日間
管理	①前半はこまめな温度管理、後半は霜や強風に注意し徐々に外気にならします。 ②1日1回午前10時頃迄、後半は1日2回昼頃までにかん水しましょう。 ★夕方かん水すると育苗箱の床土温度が下がり、根張りが悪くなります。 午後3時以降のかん水は避けましょう！
温度	日中…15～20℃ 夜間…10℃以上

※注意※：プール育苗では気温が高いと水温が上昇して徒長しやすいので、換気に十分留意しましょう。  
緑化が終了し、湛水後は原則として昼夜ともハウスのサイドビニールを開放して下さい。

## 目標とする稚苗の規格苗

苗丈：12cm 葉数：2.0葉 葉色：緑色 第一葉鞘長：3.5～4.0cm  
育苗日数：20日程度  
根張りがよい 苗が太く硬い 病気が無い

苗丈が伸びて軟らかい  
苗の生育にバラツキがある  
葉幅が細い、軟弱徒長

第1葉の長さのバラツキが大きい  
第1葉までの長さが4cmを超え細く伸張している

鞘葉が1cmを超えメソコチルが伸長している

黒ずんだ根がみられたり場所によりマット形成が悪い箇所がある

悪い苗

苗丈：12cm  
葉が直立し硬い感じがする

第3葉がわずかに伸びてきている

第1葉が良く揃っている  
第1葉までの長さ(第1葉鞘長)が3.5～4cm

鞘葉(白く透明)が0.5～1cm程度

根が白く、根の張りが良い  
マット形成がよい

良い苗

### (4) 田植え前の追肥(苗の老化防止と田植え後の活着促進)

①散布時期 … 田植え4～5日前

②専用肥料(何れか1資材)…「べんとう肥」360g/10a(18～23箱)を散布します。または、「くみあい液肥2号」を270g/10a(18～23箱)かん水します。  
※くみあい液肥2号は肥料ヤケを防ぐために、追肥は夕方に行い、その後、十分にかん水して下さい。

「くみあい液肥2号」の希釈方法(10a当り18箱を使用する場合)

		1箱当たり	100箱当たり	箱
くみあい液肥2号	重量では	15 g	1.5 kg	kg
	容量では	12 ml	1.2 ℓ	ℓ
水		1 ℓ	100 ℓ	ℓ

お問い合わせ先：ながおか営農センター TEL：0120-91-5882  
ながおか西営農センター TEL：0120-91-5883

### 3. 本田の準備

- (1) 表面排水・・・**圃場排水に努め、田を乾かしましょう。** ⇒ 移植後の活着が良くなります！
- (2) 均平化・・・高低差のある圃場は、整地キャリアなどで**均平化に努めましょう。**
- (3) 畦塗り・・・**畦からの漏水を防止しましょう。特に、ネズミ穴に注意！**
- (4) 農道・畦畔に除草剤を使用する際は、薬剤の使用基準を守り、丁寧に散布してください。  
(エコ・5-5 運動「肥料・農薬使用基準」を必ず遵守してください。)

### 4. エコ・5-5栽培 基肥使用基準

※10a 当たりの上限となる施用量

	けい酸入り エコ・5-5 専用元肥 (10-6-6)	フレーバー ペースト 734 (7-3-4)	越後の輝き有機 50 スーパー元肥・スーパー元肥ロング (12-6-5)
コシヒカリ・こしいぶき こがねもち・五百万石 等	30kg	42kg	47kg
「わたぼうし」のみ	47kg	67kg	64kg

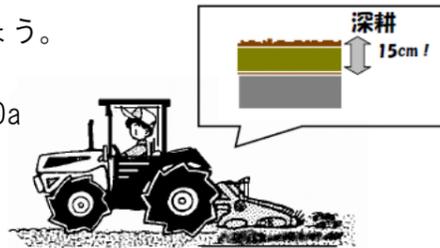
※ 土壌条件に応じ、上限以内で施用量を加減してください。

### 5. 土づくり・耕起

- (1) 耕起では作土深 15cm を確保し、根張り改善を図りましょう（回り耕ち、スタプルカルチ等）
- (2) 「完熟発酵ケイフン（イセ有機）」で地力アップを図りましょう！  
・イセ有機の施用めやす：コシヒカリ 3袋（45kg/10a）、こしいぶき 5袋（75kg/10a）  
◎特に砂質圃場等で地力が低く、例年倒伏が無い圃場では、耕起前に基肥を使用基準量上限まで散布し、さらに「完熟発酵ケイフン」（イセ有機）、または、基肥や穂肥に「味好 2号」、「フジミペレット 731」、「みらい有機 831」での補完をしてください。

- (3) ケイ酸質資材の散布で高温に耐えられる稲体にしましょう。

- ① みつパワー：60～120kg/10a
- ② 粒状ようりんケイカル 14号：120～160kg/10a
- ③ ニュー米スター（ソイル米スター）：30kg/10a
- ④ マルチサポート Fe：40～60kg/10a
- ⑤ 農力アップ：60～100kg/10a



※ ごま葉枯れ病発生圃場や下葉が枯れ上がる“秋落ち”水田では、特にケイ酸質肥料や含鉄土づくり肥料（みつパワー、マルチサポート Fe、農力アップ 等）を散布しましょう。

### 6. 代かき

- (1) 代かき程度・・・水持ちの良い圃場では練り過ぎないことがポイントです。
- (2) 時期・・・田植え 2～3 日前までに行い、土を落ち着かせます。
- (3) 均平度・・・均平化に努め、除草効果の向上や齊一な生育を図って下さい。

### 7. 田植え

- (1) 好天日に田植えをし、活着を早めましょう。
- (2) 田植時期・・・コシヒカリは 5 月 10 日以降田植えが、エコ・5-5 米の要件です。  
(※令和 4 年から特認制度が設けられました。詳細は地区の営農担当へご相談下さい。)  
**※減収防止のため 5 月末までには田植えを終えましょう。**
- (3) 栽植密度・・・コシヒカリ 50 株/坪（低地力で収量が少なく倒伏しない圃場は 60 株/坪）  
**こしいぶき等早生品種 60 株/坪以上**
- (4) 植込本数・・・3～4 本/株になるようツメを調整。**※多苗植えは根が浅くなるので注意！**
- (5) 植付深さ・・・2～3cm **※深植えすると活着・分けつの発生が遅れるので注意！**
- (6) 箱施用剤の施用 <<長岡地区>>

エコ・5-5 での 使用可能品種	適用害虫名	使用薬剤	使用量	使用方法	使用時期
「わたぼうし」 以外の品種	イネアオムシ(フタオビコヤガ) イネミスゾウムシ幼虫、 イネドロイムシ、ニカメイチュウ等	ゼロカウント粒剤	50g/ 箱	床土混和	播種前
				箱上散布	播種時覆土前 ～移植当日
「わたぼうし」	いもち病等 イネアオムシ(フタオビコヤガ) イネミスゾウムシ、イネドロイムシ、 ニカメイチュウ等	Dr.オリゼ フェルテラ粒剤	50g/ 箱	箱上散布	緑化期～ 田植当日

※JA 育苗センター苗は箱処理済みですので、ご注意ください。

**箱施用剤使用の際は、育苗ハウスに残留しないよう注意しましょう。**

### 8. エコ・5-5 用水田除草剤

薬剤名		10a 当たり 使用量	使用時期（農薬登録）	
初期 剤	ソルネット 1 キロ粒剤※	1kg	移植時～ルエ 1 葉期まで（但し移植後 30 日まで）、植代後～ <b>移植前 7 日まで</b>	
	エリジャン ※	乳 剤	300ml	移植直後～ルエ 1 葉期まで（但し移植後 30 日まで）、植代後～ <b>移植 7 日前まで</b>
ジャンボ		300g	移植直後～ルエ 1 葉期まで（但し移植後 30 日まで）、植代後～ <b>移植前 7 日まで</b>	
一 発 剤	カウンシル エナジー	1 キロ粒剤	移植時～ルエ 3.5 葉期（但し、移植後 30 日まで）	
		フロアブル		500ml
		ジャンボ		400g

※作付品種が前年と変更になる場合は、初期剤（ソルネット、エリジャン）を散布し、前年秋の落下籽による混種を防止しましょう！（特にうるち⇒もちへの変更では必ず実施してください。)

#### エコ・5-5 栽培での注意点

- ① ソルネット又はエリジャンは、何れか 1 つの剤型のみ使用できます。
- ② 「わたぼうし」では初期剤を使用できません。

<<水管理の方法>>

粒 剤	水深 5cm 程度で、散布後 4～5 日間はそのまに保ち（水を動かさない）、7 日間の止水管理 ⇒ その後は通常管理
フロアブル ジャンボ	水深 6cm 程度で、散布後 4～5 日間はそのまに保ち（水を動かさない）、7 日間の止水管理 ⇒ その後は通常管理

※ 散布後 4 日以降に水が切れたら、静かに差し水を行います。

※ エコ・5-5 運動参加圃場では、栽培指針に基づいた施用を行って下さい。